

タックルの作法

電動マルイカにベストなリールとは。



★竿先に集中しながら直感的な巻き合わせを可能にするタッチドライブは親指の押圧で31段階のスピード調整ができる



▲「6.7」はギア比、「8.0」は巻上げ速度を示す。巻上げ速度は0.1m/分単位で調整可能。また、巻上げ速度は0.1m/分単位で調整可能。また、巻上げ速度は0.1m/分単位で調整可能。



▲「探見スケー」の水深と海底の変化を表示。巻上げ速度は0.1m/分単位で調整可能。また、巻上げ速度は0.1m/分単位で調整可能。



▲コンパクトでパーミング性に優れるため、干渉が少なくて、両手で組み込むように保持してアクションを入れることができる。

【フォースマスター201DH】

○「以前から電動リールを積極的に使うのが私のマルイカ釣りのスタイルでした。その経験を踏まえて言えば、これだけコンパクトで、巻の取り直しが早くでき、ハンドルの巻き速度も早く、合わせてはワンタッチで理想の巻き合わせができるフォースマスター201DHはマルイカに最適なリールといえます（飯田純明）」

●SPEC ギア比=8.2 最大ドラッグ力=5.0kg 自重=385g 糸巻量PE（タナトル）=0.8号-270m、1号-220m、1.5号-150m 最大巻上長=66cm/ハンドル1回転 ヘアリング数=889/ローラー1 ハンドル長55mm シマノ巻上力=27kg 実用巻上持続力=3kg 最大巻上速度195m/分

とはいえ、イカの乗りは浅い。「乗りました。これかな……」
マルイカを取り込んだ飯田さんは、何かをつかんだようでも次の流してもマルイカを掛ける。
「宙ですよ。宙でよかったです」
確信を得た飯田さん。ここからは流し変えて突振りなくマルイカを掛ける。「上のほうのツノにイカの墨が付いていたのと、波の上下動と潮に引かれてゼロテンが1秒もできないから、宙にしてみましたよ」
オモリを5〜1メートル浮かせて軽くタタキ、静止。穂先がクッと動く瞬間、竿で合わせ、タッチドライブで電動巻き上げを入れる。
船が波で激しく揺れる場面でも、安定した電動巻き上げは仕掛けが下からず直結仕掛けでもバレにくい。
「マルイカで大切なこと……そうなんです。投入に遅れないこと、巻き落として

食の作法

～マルイカのユッケ～



酒の肴はもちろん、ご飯に乗せても最高です



- ①【材料】マルイカ100g、しょう油大さじ1、コチュジャン大さじ1、ごま油小さじ1、砂糖小さじ1、みりん小さじ1、おろしニンニク小さじ1/2、おろしショウガ小さじ1/2、酢小さじ1/2、卵黄1個、大葉、小ネギ、白ごま少々
- ②調味料を混ぜ合わせ、青ネギを小口切りにしておく
- ③マルイカをイカそうめん状に切る
- ④混ぜ合わせたタレにイカを入れ、泡立たないようにゆっくりとあえる

を面倒がらないこと。そして扱いやすい道具を使うことです」
もし教が釣れない、難しい日であっても、きつと、どこかにヒントがある。それを逃さずに釣り上げたとき、小さなイカが大きな満足感を与えてくれる。それがマルイカの面白さであり、熱心なファンが絶えない理由でもある。



「船釣りの作法」動画公開中。

SHIMANO TV または
YouTube SHIMANO TV
公式チャンネルにてご視聴いただけます。